

平成 25 年度「全国学力・学習状況調査」における 茨田北中学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成 25 年 4 月 24 日（水）に、3 年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「児童生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第 6 学年、中学校第 3 学年の原則として全児童生徒
- ・茨田北中学校では、3 年生 207 名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 【国語 A・数学 A】	主として「活用」に関する問題 【国語 B・数学 B】
<ul style="list-style-type: none">・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

(2) 児童生徒質問紙調査

児童生徒質問紙調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

平成25年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

大阪市立茨田北中学校

生徒数

207

平均正答率（%）

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	72.1	62.2	58.8	34.6
大阪市	72.2	61.0	59.6	37.1
全国	76.4	67.4	63.7	41.5

平均無解答率（%）

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	4.2	3.6	6.3	20.1
大阪市	3.6	4.7	7.2	20.9
全国	2.4	2.8	5.3	16.7

結果の概要

平均正答率は、国語A 数学A 数学Bにおいて大阪市を下回った。領域別に見てみると国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が大阪市より1.9ポイント低いが他の領域では大阪市を上回っている。国語Bにおいては、全領域で大阪市を上回っている。数学Aでは、「数と式」の領域で大阪市を2.3ポイント上回っているが、他の領域は下回っている。数学Bは、「資料の活用」の領域では大阪市を0.7ポイント上回っているが、他の領域は下回っている。平均無回答率は、大阪市と比較して低いが、課題が残る。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「学校の宿題をしている」割合は大阪市より1.5ポイント低く、「授業の復習をしている」割合も0.5ポイントと低い。また、「1日の学習時が30分より少ない生徒や、全くしない生徒」が大阪市より6.1ポイント近く高い。学力の定着が課題である。学力の定着を図るために、習熟度別少人数授業の実施、自宅学習プリントの実施をし取り組んできた。今後放課後等を活用した自主学習の支援を行うとともに、また、指導方法に関する取組では、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることが難しいと思っている生徒が大阪府、全国より高いので、様々な考えを引き出したり思考を深めたりする問いかけや発言をする時間を行う必要がある。

【国語】

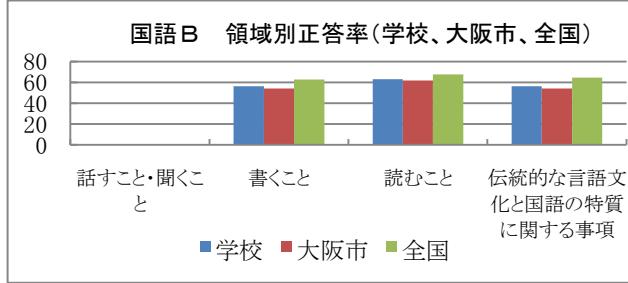
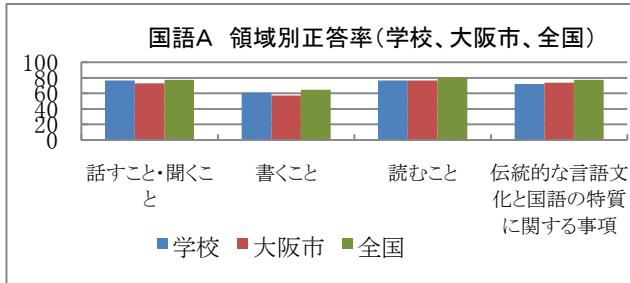
結果の概要

国語Aの正答率は、大阪市より0.1ポイント低く、全国より4.3ポイント低い。国語Bの正答率は、大阪市より1.2ポイント高く、全国より5.2ポイント低い。

国語A Bの領域ごとの比較では、大阪市より上回った領域もあるが、全国と比較をすると全ての領域で課題が残る。

学習指導要領の領域等	A 問題	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	4	76.7	73.1	77.6
書くこと	4	61.1	57.3	64.5
読むこと	6	76.8	76.8	80.0
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	72.0	73.9	77.5

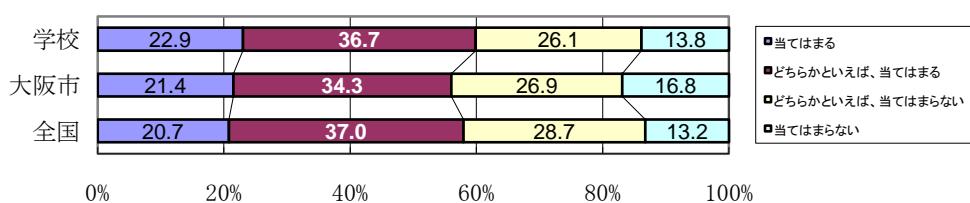
学習指導要領の領域等	B 問題	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	0	—	—	—
書くこと	3	56.3	54.0	62.7
読むこと	8	63.0	61.9	67.8
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	56.3	54.2	64.6



国語に関する「生徒質問紙」

I 53 II 52 III 63

国語の勉強は好きですか



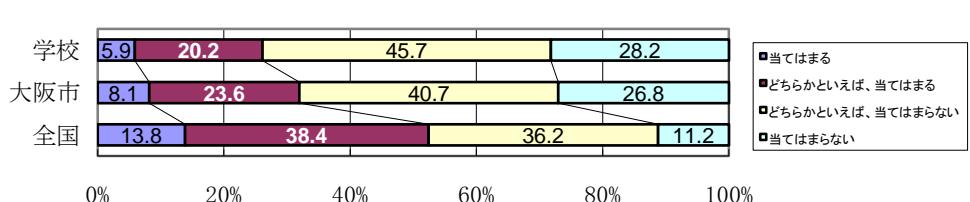
I 55 II 54 III 65

国語の授業の内容はよく分かれますか



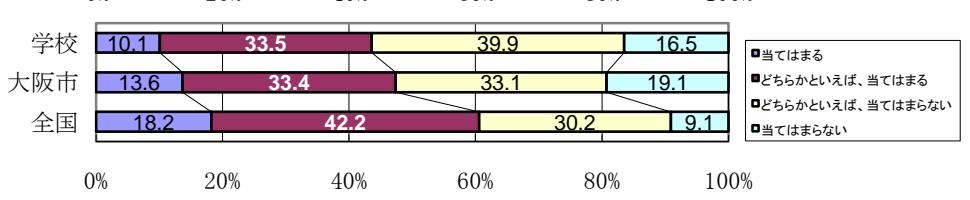
I 58 II 57 III 68

国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



I 60 II 59 III 70

国語の授業で自分の考えを書きとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



成果と課題

「国語の勉強は好きですか」「国語の授業の内容はよく分かれますか」は全国以上の結果を得ている。しかし、「学校の宿題をしている」割合は大阪市より1.5ポイント低く、「授業の復習をしている」割合も0.5ポイントと低い。また、「1日の学習時間が30分より少ない生徒や、全くしない生徒」が大阪市より6.1ポイント近く高い。学力の定着が課題である。

今後の取組

学力の定着を図るために、放課後等を活用した自主学習の支援を行う。また、指導方法に関する取組では、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることが難しいと思っている生徒のは大阪市、全国より高い。様々な考え方を引き出したり思考を深めたりする問い合わせや発言をする時間についてさらに行う

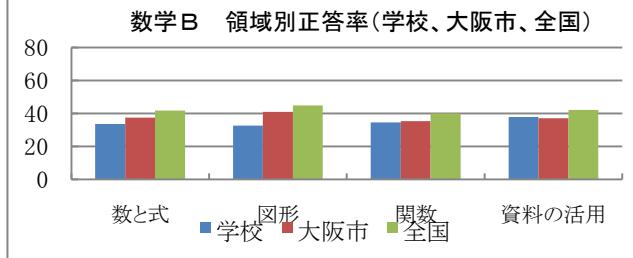
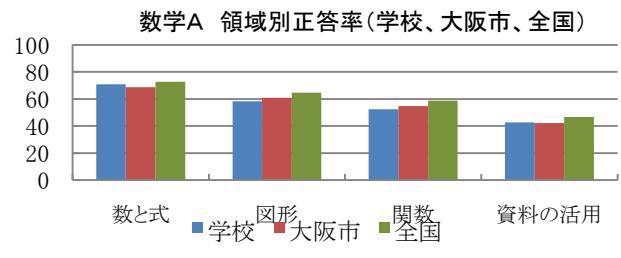
【数学】

結果の概要

数学Aの正答率は、大阪市より0.8ポイント、全国より4.9ポイント低い。数学Bの正答率は、大阪市より2.5ポイント、全国より6.9ポイント低い。
数学A Bの領域ごとの比較では、大阪市より上回った領域もあるが、全国と比較をすると全ての領域で課題が残る。

A 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	11	70.9	68.6
	図形	12	58.2	60.8
	関数	9	52.3	54.7
	資料の活用	4	42.6	42.3

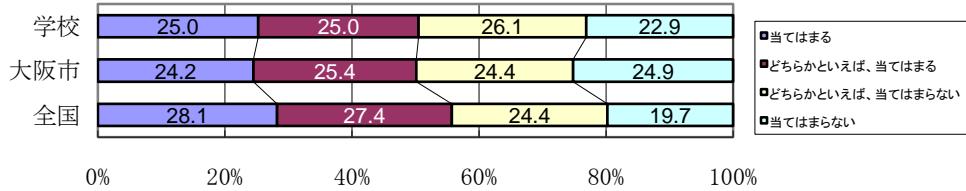
B 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	5	33.6	37.6
	図形	2	32.7	41.0
	関数	6	34.5	35.4
	資料の活用	3	37.8	37.1



数学に関する「生徒質問紙」

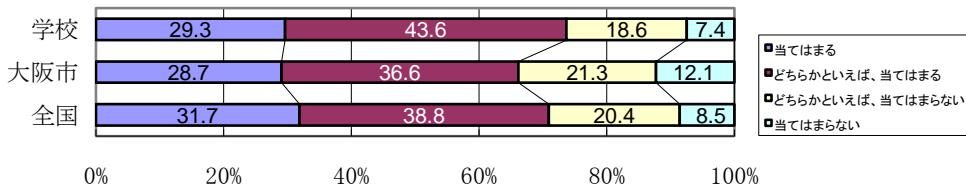
I 73 II 62 III 73

数学の勉強は好きですか



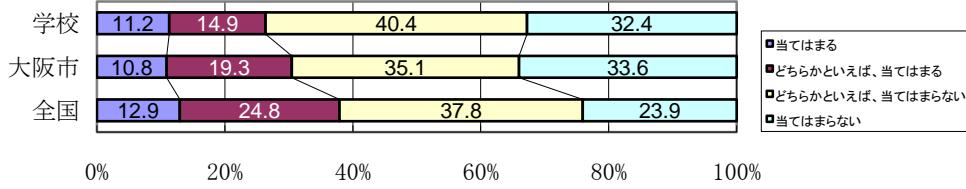
I 75 II 64 III 75

数学の授業の内容はよく分かりますか



I 78 II 67 III 78

数学の授業で学習したこと を普段の生活の中で活用でききないか考えますか



I 81 II 70 III 81

数学の授業で公式やきまり を習うとき、その根拠を理解するようにしていますか



成果と課題

「数学の勉強は好きですか」は大阪市以上の結果を得ている。「数学の授業の内容はよく分かりますか」は全国以上の結果を得ている。しかし、「学校の宿題をしている」割合は大阪市より1.5ポイント低く、「授業の復習をしている」割合も0.5ポイントと低い。また、「1日の学習時間が30分より少ない生徒や、全くしない生徒」が大阪市より6.1ポイント近く高い。学力の定着が課題である。

今後の取組

学力の定着を図るために、放課後等を活用した自主学習の支援を行う。また、指導方法に関する取組では、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることが難しいと思っている生徒のは大阪市、全国より高い。様々な考え方を引き出したり思考を深めたりする問いかけや発言をする時間についてさらに行う必要がある。

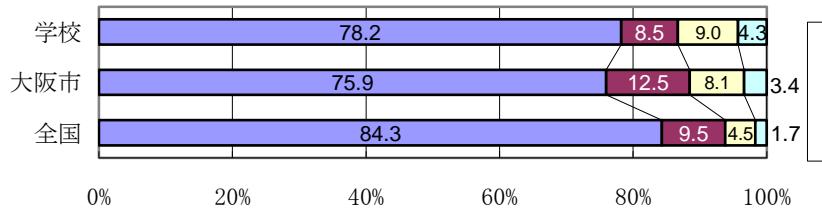
基本的生活習慣・自尊感情・規範意識

結果の概要

生徒の質問用紙より「朝食を毎日食べていない」と答える生徒が4.3%と大阪市、全国に比べ多い。「毎日、同じくらいの時刻に寝ていない」と答える生徒が13.3%と大阪市、全国に比べ多い。「学校の規則を守っていますか」と答える生徒は91%と大阪市、全国に比べ高い、しかし「自分には、よいところがあると思いますか」という自尊感情は66.9%と低い。

質問番号	質問事項
------	------

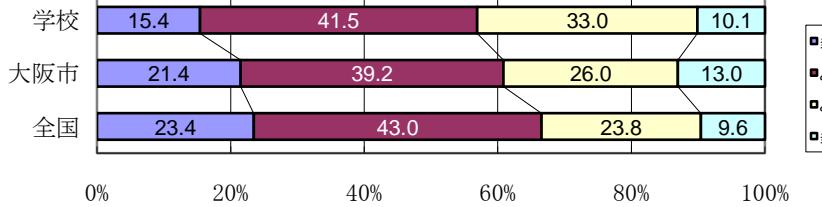
I 1	II 1	III 1
朝食を毎日食べていますか		



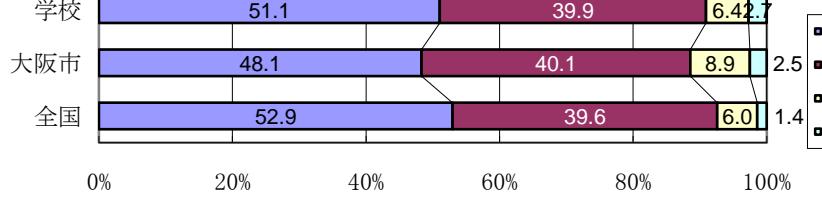
I 2	II 2	III 2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか		



I 6	II 6	III 6
自分には、よいところがあると思いますか		



I 44	II 41	III 45
学校の規則を守っていますか		



成果と課題

規則を守ること、人の気持ちが分かる人間になりたい、いじめはどんなことがあってもいけないと答えた生徒は大阪市より高く、全国と同じかそれより高い結果である。自尊感情が低い事が課題である。

今後の取組

自尊感情の育成が急務である。あらゆる機会を通し、自他を尊重し礼節を持ち思いやりの心を持つ生徒の育成に全力をあげていく。

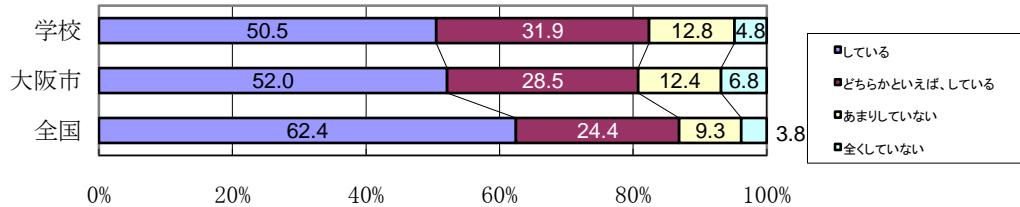
家庭学習・読書・学びの質の改善：言語力の育成

結果の概要

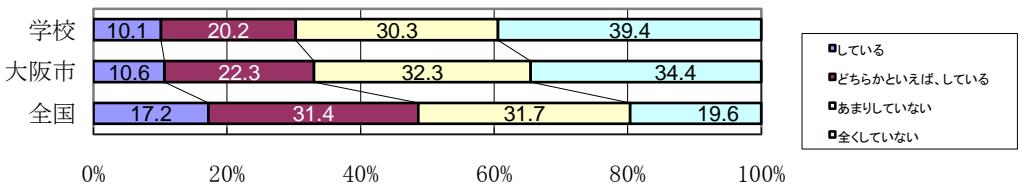
「家で、学校の宿題をしていますか」と答えた生徒は82.4%であるが、「家で、学校の授業の復習をしていますか」と答えた生徒は30.3%と大阪市、全国に比べ低い。「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」と答える生徒は14.9%と大阪市、全国に比べ大変低い。授業の工夫と家庭学習の習慣を身につけさせることが急務である。

質問番号	質問事項
------	------

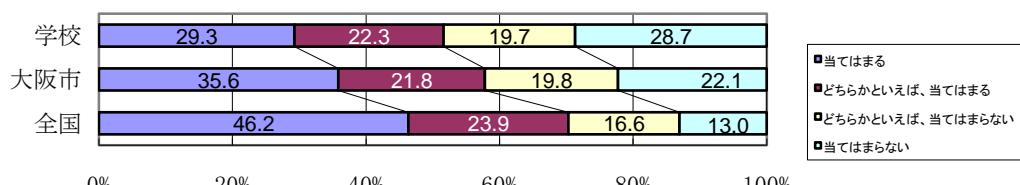
I 30 II 25 III 35
家で、学校の宿題をしていますか



I 32 II 27 III 37
家で、学校の授業の復習をしていますか



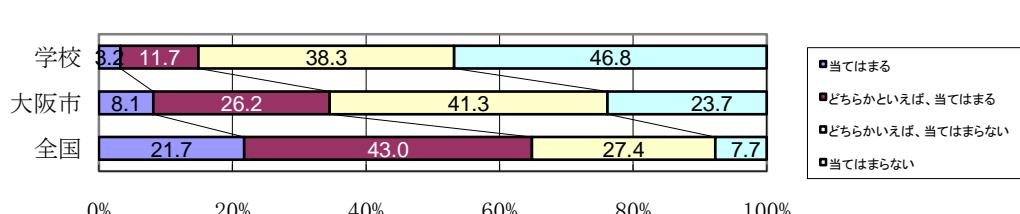
I 56 II 55 III 66
読書は好きですか



I 52 II 51 III 61
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることには難しいと思いますか



I 50 II 48 III 57
普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか



成果と課題

学力の定着を図るために、習熟度別少人数授業の実施、自宅学習プリントの実施をし取り組んできた。しかし、今回の結果を踏まえ、家庭学習の習慣に繋がる取り組み、生徒間で話し合う活動を取り入れた授業の構築が急務である。

今後の取組

放課後等を活用した自主学習の支援を行う。また、指導方法に関する取組では、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることが難しいと思っている生徒が大阪市、全国より高いので、様々な考え方を引き出したり思考を深めたりする問いかけや発言をする時間を多く持つ授業をめざす。